

第4号議案

平成22年度 公立小・中学校、高等学校及び 特別支援学校教職員定数配分方針について

平成22年度公立小・中学校、高等学校及び特別支援学校教職員定数配分方針を次のように定める。

平成22年2月17日

大阪府教育委員会

【 参 考 】

[趣 旨]

府内における公立小・中学校、高等学校及び特別支援学校の教職員の配置の適正化を行い、もって教育水準の維持向上を図るという観点から、毎年度策定している件。

[改正点]

分校の設置に伴う文言修正（特別支援学校）

[根拠規定]

大阪府教育委員会事務決裁規則

第3条 委員会が会議の議決により決裁する事項は、次のとおりとする。

四 教育長の任免その他の人事に関する事及び委員会の任命に係る職員の人事の基本方針に関する事。

平成22年度 公立小・中学校教職員定数の配分方針

「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」等に基づく教職員の配置

定数配分は、各学校の学級数を基礎として算定する。

ただし、本校及び分校は、それぞれ一の学校とみなす。

1 校長・教員

(1) 別表に掲げる数を配置

ただし、分校については、別表に掲げる数から2を減じた数を配置

なお、小学校1学年及び2学年の学級数についても40人編制により算出した数とする。

(2) 教育課題等に対応するための配置

①少人数による授業などきめ細かな指導を行う学校に配置

②通級指導を行う学校に配置

③児童・生徒への支援対応を行う学校に配置

④首席の配置に伴うマネジメント機能の強化のための配置

⑤生徒指導の対応のための配置

⑥小学校低学年での35人学級編制の実施に必要な学校に配置

⑦夜間学級に関し、実情に応じ配置（夜間学級は別表を適用しない。）

⑧教育指導の改善等に関する特別な研究が行われている学校に対し、実情に応じ配置

2 養護教員

(1) 学校（9学級以下の分校を除く。）に各1名

(2) 小学校の児童数851人以上・中学校801人以上の学校に更に1名

(3) 児童生徒の心身の健康への適切な対応を行う学校に、実情に応じ配置

3 事務職員

(1) 学校（9学級以下の分校を除く。）に各1名

(2) 小学校27学級以上、中学校21学級以上の学校に更に1名

(3) 要保護・準要保護の児童・生徒数が著しく多い学校に更に1名

（ただし、(2)に該当する学校については配置しない。）

(4) きめ細かな学習指導や教育の情報化の支援等のため事務部門の強化対応を行う学校に、実情に応じ配置

4 栄養教諭等（学校栄養職員・栄養教諭）

- (1) 単独調理校に完全給食実施児童・生徒数を考慮し配置
- (2) 完全給食実施児童・生徒数が1,500人以下の共同調理場に各1名
完全給食実施児童・生徒数が1,501人以上6,000人以下の共同調理場に各2名
完全給食実施児童・生徒数が6,001人以上の共同調理場に各3名
- (3) 児童生徒の食の指導への対応を行う学校に、実情に応じ配置
- (4) 栄養教諭については、上記(1)～(3)のうち、学校における食育を推進するための体制整備の状況や府内の地域バランスを考慮して段階的に配置

5 その他必要と認められる場合、教職員定数の範囲内で配置

- (1) 長期研修の受講や在外教育施設への派遣、その他やむを得ないと認められる者に対応するための配置
- (2) その他必要と認められる事情が存する学校へ配置

別表

1 小学校

学級数	校長・ 教員	養護 教員	事務 職員	計
1	4	1	1	6
2	5	1	1	7
3	6	1	1	8
4	7	1	1	9
5	8	1	1	10
6	9	1	1	11
7	10	1	1	12
8	11	1	1	13
9	12	1	1	14
10	13	1	1	15
11	14	1	1	16
12	15	1	1	17
13	17	1	1	19
14	18	1	1	20
15	19	1	1	21
16	20	1	1	22
17	21	1	1	23
18	22	1	1	24
19	23	1	1	25
20	24	1	1	26
21	25	1	1	27
22	27	1	1	29
23	28	1	1	30
24	29	1	1	31
25	30	1	1	32
26	31	1	1	33
27	32	1	2	35
28	33	1	2	36
29	34	1	2	37
30	35	1	2	38

学級数	校長・ 教員	養護 教員	事務 職員	計
31	36	1	2	39
32	37	1	2	40
33	38	1	2	41
34	39	1	2	42
35	40	1	2	43
36	42	1	2	45
37	43	1	2	46
38	44	1	2	47
39	45	1	2	48
40	46	1	2	49
41	47	1	2	50
42	48	1	2	51
43	49	1	2	52
44	50	1	2	53
45	51	1	2	54
46	53	1	2	56
47	54	1	2	57
48	56	1	2	59
49	57	1	2	60
50	58	1	2	61
51	59	1	2	62
52	60	1	2	63
53	61	1	2	64
54	62	1	2	65
55	63	1	2	66
56	64	1	2	67
57	65	1	2	68
58	66	1	2	69
59	67	1	2	70
60	68	1	2	71

※なお、1・2年生についても40人編制で算出した学級数とする。

別表

2 中学校

学級数	校長・ 教員	養護 教員	事務 職員	計
1	5	1	1	7
2	7	1	1	9
3	9	1	1	11
4	10	1	1	12
5	11	1	1	13
6	13	1	1	15
7	14	1	1	16
8	15	1	1	17
9	17	1	1	19
10	18	1	1	20
11	19	1	1	21
12	21	1	1	23
13	22	1	1	24
14	23	1	1	25
15	25	1	1	27
16	26	1	1	28
17	28	1	1	30
18	29	1	1	31
19	31	1	1	33
20	32	1	1	34
21	34	1	2	37
22	36	1	2	39
23	37	1	2	40
24	38	1	2	41
25	40	1	2	43
26	41	1	2	44
27	43	1	2	46
28	44	1	2	47
29	46	1	2	49
30	47	1	2	50

学級数	校長・ 教員	養護 教員	事務 職員	計
31	49	1	2	52
32	50	1	2	53
33	52	1	2	55
34	53	1	2	56
35	55	1	2	58
36	56	1	2	59
37	57	1	2	60
38	58	1	2	61
39	59	1	2	62
40	61	1	2	64
41	62	1	2	65
42	64	1	2	67
43	65	1	2	68
44	67	1	2	70
45	68	1	2	71
46	70	1	2	73
47	71	1	2	74
48	73	1	2	76
49	74	1	2	77
50	76	1	2	79
51	77	1	2	80
52	79	1	2	82
53	81	1	2	84
54	82	1	2	85
55	84	1	2	87
56	85	1	2	88
57	87	1	2	90
58	88	1	2	91
59	89	1	2	92
60	91	1	2	94

平成22年度高等学校教職員定数配分方針

第1 「公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律」（以下「標準法」という。）等に基づく教職員の配置

1 校長

- ・学校に各1名

2 准校長

- ・定時制の課程（昼間においてのみ授業を行う課程及び閉課程を除く）及び通信制の課程に各1名

3 教頭

- ・全日制の課程、定時制の課程及び通信制の課程に各1名
- ・別途、学校の実情を勘案し更に1名

4 教員

(1)別表第1を基準に配置

(2)特色づくりの推進、学習指導の充実及び教育課題への対応のための配置

- ①普通科総合選択制
- ②総合学科
- ③単位制
- ④ガイダンス機能の充実
- ⑤専門学科、通信制、普通科設置専門コース等
- ⑥少人数指導
- ⑦学習指導の充実
- ⑧キャリア教育の充実
- ⑨生徒指導・中途退学対応
- ⑩日本語指導の充実
- ⑪研修等定数
- ⑫地域連携等の充実
- ⑬修業年限弾力化
- ⑭中国帰国外国人生徒選抜
- ⑮自立支援推進

5 養護教員

(1)全日制の課程及び定時制の課程に各1名、通信制の課程に2名

(2)別途、学校の実情を勘案し更に1名

6 実習助手

(1)普通科、総合学科、理数科、総合科学科、国際文化科、総合造形科を置く
全日制・定時制の課程の学校

- ・今後、別表第2を基準とする配置を目指し、退職あと不補充により配置数を削減

- (2)職業系学科（総合学科、理数科、総合科学科、国際文化科、総合造形科を除く。）を置く全日制・定時制の課程及び通信制の課程の学校
 - ・学級数等を勘案し、別途配置

7 事務職員

- ・別表第3を基準に配置

第2 学校運営上必要な職員の府単独配置

1 校務員

- ・今後、退職あと不補充により配置数を削減

2 農芸員及び畜産員

- ・農業に関する学科を置く学校に、学級数及び施設等を勘案し配置

第3 市立高等学校定時制の課程教職員（府費負担教職員）定数配分基準

府立高等学校教職員定数の配分方法に準ずる。

(別表第1)

教員

- ・以下の表を基準に、学校の実情を勘案し配置

1 全日制の課程

学級数	基本教員数	学級数	基本教員数	学級数	基本教員数
1	5	17	37	33	63
2	7	18	38	34	64
3	8	19	40	35	66
4	10	20	42	36	67
5	13	21	44	37	69
6	15	22	46	38	70
7	17	23	48	39	72
8	19	24	49	40	73
9	21	25	51	41	75
10	23	26	52	42	76
11	25	27	54	43	78
12	27	28	55	44	79
13	29	29	57	45	81
14	31	30	58	46	82
15	33	31	60	47	84
16	35	32	61	48	85

2 定時制の課程

学級数	基本教員数	学級数	基本教員数	学級数	基本教員数
1	5	10	17	19	30
2	7	11	19	20	31
3	8	12	20	21	32
4	9	13	22	22	33
5	10	14	23	23	35
6	12	15	25	24	36
7	13	16	26	25	37
8	14	17	27	26	38
9	16	18	29	27	40

3 農業又は工業に関する学科等を置く学校に、学級数及び施設等を勘案し配置

4 通信制の課程

別途配置

(別表第2)

実習助手

- ・以下の表を基準に、学校の実情を勘案し配置
- 1 普通科を置く全日制・定時制の課程の学校

区 分	人 数
6学級～24学級	1
25学級以上	2

- 2 総合学科、理数科、総合科学科、国際文化科、総合造形科を置く全日制・定時制の課程の学校

区 分	人 数
別 途 調 整 加 配	1

(別表第3)

事務職員

- ・以下の表を基準に、学校の実情を勘案し配置
- 1 全日制及び多部制単位制Ⅰ・Ⅱ部の課程

区分（上記課程の計）	基 本	農業・工業 調整加配
1学級～9学級	3	1
10学級～32学級	4	
33学級～41学級	5	
42学級以上	6	

- 2 定時制及び多部制単位制Ⅲ部の課程

区分（上記課程の計）	基 本	農業・工業 調整加配
1学級～7学級	2	1
8学級～15学級	3	
16学級以上	4	

- 3 通信制の課程
別途配置

平成22年度特別支援学校教職員定数配分方針

- 第1 「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」及び「公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律」等に基づく教職員の配置
- 1 校長
 - ・学校に各1名
 - 2 准校長
 - ・高等部を有する学校のうち、児童・生徒数及び教職員数を勘案し配置
 - 3 教頭
 - (1)学校（堺支援学校大手前分校、交野支援学校四條畷校、八尾支援学校東校、佐野支援学校砂川校及び吹田支援学校鳥飼校（以下「分校」という。）を含む。）に各1名
 - (2)学部数及び学級数等を勘案し更に1名
 - 4 教員
 - (1)別表第1を基準に配置
 - (2)地域支援や地域交流の充実を図るため、学校の実情を勘案し配置
 - (3)障がい種別に応じた自立活動の指導や個別指導の充実を図るため、学校規模や学校の実情を勘案し配置
 - (4)寄宿舎を有する学校に寄宿する児童・生徒数を勘案し配置
 - (5)進路指導の充実を図るため、学校の実情を勘案し配置
 - (6)生徒指導の充実を図るため、学校の実情を勘案し配置
 - (7)聴覚支援学校の通級指導の充実を図るため、学校の実情を勘案し配置
 - 5 養護教員
 - (1)学校（分校を含む。）に各1名
 - (2)別途、学校の実情を勘案し更に1名
 - 6 寄宿舎指導員
 - ・寄宿舎に寄宿する児童及び生徒の数を基準に配置
 - 7 実習助手
 - (1)学校の種別及び規模に応じて配置
 - (2)高等部を置く学校にあっては、設置学科その他の実情に応じて配置
 - 8 事務職員
 - ・学級数及び施設等を勘案し配置
 - 9 栄養教諭等（学校栄養職員・栄養教諭）
 - ・完全給食を実施する学校（分校を含む。）に各1名
 - ・栄養教諭については、学校における食育を推進するための体制整備の状況や府内の地域バランスを考慮して段階的に配置
- 第2 学校運営上必要な教職員の府単独配置
- 1 校務員
 - ・今後、退職あと不補充により配置数を削減
 - 2 通学バス担当要員
 - ・今後、退職あと不補充により配置数を削減
 - 3 給食調理員
 - ・今後、退職あと不補充により配置数を削減
- 第3 市立特別支援学校（府費負担教職員）配分基準

府立特別支援学校教職員定数の配分方法に準ずる。

(別表第1)

教員

・以下の表を基準に、学校の実情を勘案し配置

学 級 数	小学部基本教員数	中学部基本教員数	高等部基本教員数
1	2	2	2
2	3	4	4
3	5	6	6
4	6	7	8
5	7	9	10
6	8	10	12
7	9	12	14
8	10	14	16
9	11	15	18
10	12	17	20
11	13	19	22
12	15	19	24
13	16	20	26
14	17	22	28
15	18	23	30
16	19	25	32
17	20	27	34
18	22	28	36
19	22	30	38
20	23	31	40
21	25	33	42
22	26	34	44
23	27	36	46
24	28	36	48
25	29	38	50
26	30	39	52
27	31	41	54
28	32	42	56
29	33	44	58
30	34	45	60
31	35	47	62
32	36	48	64
33	37	49	66
34	38	51	68
35	39	53	70
36	40	53	72
37	41	54	74
38			76
39			78
40			80
41			82
42			84
43			86
44			88
45			90

幼稚部については小学部の欄を、専科・別科については高等部の欄を適用

教 職 員 定 数 等 の 推 移

		15	16	17	18	19	20	21	22
小 学 校	条例定数	25,371	25,668	26,096	26,791	27,281	27,180	27,418	27,375
	(前年比)	(308)	(297)	(428)	(695)	(490)	(△ 101)	(238)	(△ 43)
	学校数	1,037	1,036	1,030	1,028	1,025	1,022	1,021	1,022
	(前年比)	(0)	(△ 1)	(△ 6)	(△ 2)	(△ 3)	(△ 3)	(△ 1)	(1)
	学級数	16,589	16,887	17,235	17,695	18,173	18,104	18,152	18,099
	(前年比)	(172)	(298)	(348)	(460)	(478)	(△ 69)	(48)	(△ 53)
中 学 校	条例定数	14,196	14,158	14,235	14,382	14,571	14,812	14,975	15,375
	(前年比)	(△ 70)	(△ 38)	(77)	(147)	(189)	(241)	(163)	(400)
	学校数	464	464	464	463	463	465	465	465
	(前年比)	(0)	(0)	(0)	(△ 1)	(0)	(2)	(0)	(0)
	学級数	6,860	6,771	6,809	6,861	6,960	7,061	7,180	7,284
	(前年比)	(△ 62)	(△ 89)	(38)	(52)	(99)	(101)	(119)	(104)

教 職 員 定 数 等 の 推 移

		15	16	17	18	19	20	21	22
高 等 学 校	条例定数	10,936	10,770	10,691	10,515	10,390	10,156	10,115	10,243
	(前年比)	(△ 276)	(△ 166)	(△ 79)	(△ 176)	(△ 125)	(△ 234)	(△ 41)	(128)
	学校数	164	161	167	162	161	148	146	142
(前年比)	(0)	(△ 3)	(6)	(△ 5)	(△ 1)	(△ 13)	(△ 2)	(△ 4)	
学級数	3,413	3,344	3,285	3,201	3,140	3,140	3,144	3,238	
(前年比)	(△ 115)	(△ 69)	(△ 59)	(△ 84)	(△ 61)	(0)	(4)	(94)	
特 別 支 援 学 校	条例定数	4,037	4,096	4,133	4,170	4,231	4,324	4,454	4,641
	(前年比)	(109)	(59)	(37)	(37)	(61)	(93)	(130)	(187)
	学校数	37	37	36	37	37	37	37	37
(前年比)	(0)	(0)	(△ 1)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	
学級数	1,519	1,544	1,576	1,605	1,631	1,695	1,767	1,847	
(前年比)	(53)	(25)	(32)	(29)	(26)	(64)	(72)	(80)	

※条例定数には、衛星都市立高等学校定時制及び市立特別支援学校分を含む。

新
平成22年度公立小・中学校教職員定数の配分方針
<p>「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」等に基づく教職員の配置</p> <p>定数配分は、各学校の学級数を基礎として算定する。 ただし、本校及び分校は、それぞれ一の学校とみなす。</p> <p>1 校長・教員</p> <p>(1) 別表に掲げる数を配置</p> <p style="padding-left: 2em;">ただし、分校については、別表に掲げる数から2を減じた数を配置</p> <p style="padding-left: 2em;">なお、小学校1学年及び2学年の学級数についても40人編制により算出した数とする。</p> <p>(2) 教育課題等に対応するための配置</p> <p style="padding-left: 2em;">①少人数による授業などきめ細かな指導を行う学校に配置</p> <p style="padding-left: 2em;">②通級指導を行う学校に配置</p> <p style="padding-left: 2em;">③児童・生徒への支援対応を行う学校に配置</p> <p style="padding-left: 2em;">④生徒指導の対応のための配置</p> <p style="padding-left: 2em;">⑤小学校低学年での35人学級編制の実施に必要な学校に配置</p> <p style="padding-left: 2em;">⑥夜間学級に関し、実情に応じ配置（夜間学級は別表を適用しない。）</p> <p style="padding-left: 2em;">⑦教育指導の改善等に関する特別な研究が行われている学校に対し、実情に応じ配置</p> <p>2 養護教員</p> <p>(1) 学校（9学級以下の分校を除く。）に各1名</p> <p>(2) 小学校の児童数851人以上・中学校の生徒数801人以上の学校に更に1名</p> <p>(3) 児童生徒の心身の健康への適切な対応を行う学校に、実情に応じ配置</p>

旧
平成21年度公立小・中学校教職員定数の配分方針
<p>「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」等に基づく教職員の配置</p> <p>定数配分は、各学校の学級数を基礎として算定する。 ただし、本校及び分校は、それぞれ一の学校とみなす。</p> <p>1 校長・教員</p> <p>(1) 別表に掲げる数を配置</p> <p style="padding-left: 2em;">ただし、分校については、別表に掲げる数から2を減じた数を配置</p> <p style="padding-left: 2em;">なお、小学校1学年及び2学年の学級数についても40人編制により算出した数とする。</p> <p>(2) 教育課題等に対応するための配置</p> <p style="padding-left: 2em;">①少人数による授業などきめ細かな指導を行う学校に配置</p> <p style="padding-left: 2em;">②通級指導を行う学校に配置</p> <p style="padding-left: 2em;">③児童・生徒への支援対応を行う学校に配置</p> <p style="padding-left: 2em;">④生徒指導の対応のための配置</p> <p style="padding-left: 2em;">⑤小学校低学年での35人学級編制の実施に必要な学校に配置</p> <p style="padding-left: 2em;">⑥夜間学級に関し、実情に応じ配置（夜間学級は別表を適用しない。）</p> <p style="padding-left: 2em;">⑦教育指導の改善等に関する特別な研究が行われている学校に対し、実情に応じ配置</p> <p>2 養護教員</p> <p>(1) 学校（9学級以下の分校を除く。）に各1名</p> <p>(2) 小学校の児童数851人以上・中学校の生徒数801人以上の学校に更に1名</p> <p>(3) 児童生徒の心身の健康への適切な対応を行う学校に、実情に応じ配置</p>

3 事務職員

- (1) 学校（9学級以下の分校を除く。）に各1名
- (2) 小学校27学級以上、中学校21学級以上の学校に更に1名
- (3) 要保護・準要保護の児童・生徒数が著しく多い学校に更に1名
(ただし、(2)に該当する学校については配置しない。)
- (4) きめ細かな学習指導や教育の情報化の支援等のため事務部門の強化対応を行う学校に、実情に応じ配置

4 栄養教諭等（学校栄養職員・栄養教諭）

- (1) 単独調理校に完全給食実施児童・生徒数を考慮し配置
- (2) 完全給食実施児童・生徒数が1,500人以下の共同調理場に各1名
完全給食実施児童・生徒数が1,501人以上6,000人以下の共同調理場に各2名
完全給食実施児童・生徒数が6,001人以上の共同調理場に各3名
- (3) 児童生徒の食の指導への対応を行う学校に、実情に応じ配置
- (4) 栄養教諭については、上記(1)～(3)のうち、学校における食育を推進するための体制整備の状況や府内の地域バランスを考慮して段階的に配置

5 その他必要と認められる場合、教職員定数の範囲内で配置

- (1) 長期研修の受講や在外教育施設への派遣、その他やむを得ないと認められる者に対応するための配置
- (2) その他必要と認められる事情が存する学校へ配置

3 事務職員

- (1) 学校（9学級以下の分校を除く。）に各1名
- (2) 小学校27学級以上、中学校21学級以上の学校に更に1名
- (3) 要保護・準要保護の児童・生徒数が著しく多い学校に更に1名
(ただし、(2)に該当する学校については配置しない。)
- (4) きめ細かな学習指導や教育の情報化の支援等のため事務部門の強化対応を行う学校に、実情に応じ配置

4 栄養教諭等（学校栄養職員・栄養教諭）

- (1) 単独調理校に完全給食実施児童・生徒数を考慮し配置
- (2) 完全給食実施児童・生徒数が1,500人以下の共同調理場に各1名
完全給食実施児童・生徒数が1,501人以上6,000人以下の共同調理場に各2名
完全給食実施児童・生徒数が6,001人以上の共同調理場に各3名
- (3) 児童生徒の食の指導への対応を行う学校に、実情に応じ配置
- (4) 栄養教諭については、上記(1)～(3)のうち、学校における食育を推進するための体制整備の状況や府内の地域バランスを考慮して段階的に配置

5 その他必要と認められる場合、教職員定数の範囲内で配置

- (1) 長期研修の受講や在外教育施設への派遣、その他やむを得ないと認められる者に対応するための配置
- (2) その他必要と認められる事情が存する学校へ配置

新

(別表)

1 小学校

学級数	校長 教員	養護 教員	事務 職員	計
1	4	1	1	6
2	5	1	1	7
3	6	1	1	8
4	7	1	1	9
5	8	1	1	10
6	9	1	1	11
7	10	1	1	12
8	11	1	1	13
9	12	1	1	14
10	13	1	1	15
11	14	1	1	16
12	15	1	1	17
13	17	1	1	19
14	18	1	1	20
15	19	1	1	21
16	20	1	1	22
17	21	1	1	23
18	22	1	1	24
19	23	1	1	25
20	24	1	1	26
21	25	1	1	27
22	27	1	1	29
23	28	1	1	30
24	29	1	1	31
25	30	1	1	32
26	31	1	1	33
27	32	1	2	35
28	33	1	2	36
29	34	1	2	37
30	35	1	2	38

旧

(別表)

1 小学校

学級数	校長 教員	養護 教員	事務 職員	計
1	4	1	1	6
2	5	1	1	7
3	6	1	1	8
4	7	1	1	9
5	8	1	1	10
6	9	1	1	11
7	10	1	1	12
8	11	1	1	13
9	12	1	1	14
10	13	1	1	15
11	14	1	1	16
12	15	1	1	17
13	17	1	1	19
14	18	1	1	20
15	19	1	1	21
16	20	1	1	22
17	21	1	1	23
18	22	1	1	24
19	23	1	1	25
20	24	1	1	26
21	25	1	1	27
22	27	1	1	29
23	28	1	1	30
24	29	1	1	31
25	30	1	1	32
26	31	1	1	33
27	32	1	2	35
28	33	1	2	36
29	34	1	2	37
30	35	1	2	38

新				
学級数	校長 教員	養護 教員	事務 職員	計
31	36	1	2	39
32	37	1	2	40
33	38	1	2	41
34	39	1	2	42
35	40	1	2	43
36	42	1	2	45
37	43	1	2	46
38	44	1	2	47
39	45	1	2	48
40	46	1	2	49
41	47	1	2	50
42	48	1	2	51
43	49	1	2	52
44	50	1	2	53
45	51	1	2	54
46	53	1	2	56
47	54	1	2	57
48	56	1	2	59
49	57	1	2	60
50	58	1	2	61
51	59	1	2	62
52	60	1	2	63
53	61	1	2	64
54	62	1	2	65
55	63	1	2	66
56	64	1	2	67
57	65	1	2	68
58	66	1	2	69
59	67	1	2	70
60	68	1	2	71

※なお、1・2年生についても40人編制で算出した学級数とする。

旧				
学級数	校長 教員	養護 教員	事務 職員	計
31	36	1	2	39
32	37	1	2	40
33	38	1	2	41
34	39	1	2	42
35	40	1	2	43
36	42	1	2	45
37	43	1	2	46
38	44	1	2	47
39	45	1	2	48
40	46	1	2	49
41	47	1	2	50
42	48	1	2	51
43	49	1	2	52
44	50	1	2	53
45	51	1	2	54
46	53	1	2	56
47	54	1	2	57
48	56	1	2	59
49	57	1	2	60
50	58	1	2	61
51	59	1	2	62
52	60	1	2	63
53	61	1	2	64
54	62	1	2	65
55	63	1	2	66
56	64	1	2	67
57	65	1	2	68
58	66	1	2	69
59	67	1	2	70
60	68	1	2	71

※なお、1・2年生についても40人編制で算出した学級数とする。

新

(別表)
2 中学校

学級数	校長 教員	養護 教員	事務 職員	計
1	5	1	1	7
2	7	1	1	9
3	9	1	1	11
4	10	1	1	12
5	11	1	1	13
6	13	1	1	15
7	14	1	1	16
8	15	1	1	17
9	17	1	1	19
10	18	1	1	20
11	19	1	1	21
12	21	1	1	23
13	22	1	1	24
14	23	1	1	25
15	25	1	1	27
16	26	1	1	28
17	28	1	1	30
18	29	1	1	31
19	31	1	1	33
20	32	1	1	34
21	34	1	2	37
22	36	1	2	39
23	37	1	2	40
24	38	1	2	41
25	40	1	2	43
26	41	1	2	44
27	43	1	2	46
28	44	1	2	47
29	46	1	2	49
30	47	1	2	50

旧

(別表)
2 中学校

学級数	校長 教員	養護 教員	事務 職員	計
1	5	1	1	7
2	7	1	1	9
3	9	1	1	11
4	10	1	1	12
5	11	1	1	13
6	13	1	1	15
7	14	1	1	16
8	15	1	1	17
9	17	1	1	19
10	18	1	1	20
11	19	1	1	21
12	21	1	1	23
13	22	1	1	24
14	23	1	1	25
15	25	1	1	27
16	26	1	1	28
17	28	1	1	30
18	29	1	1	31
19	31	1	1	33
20	32	1	1	34
21	34	1	2	37
22	36	1	2	39
23	37	1	2	40
24	38	1	2	41
25	40	1	2	43
26	41	1	2	44
27	43	1	2	46
28	44	1	2	47
29	46	1	2	49
30	47	1	2	50

新

学級数	校長 教員	養護 教員	事務 職員	計
31	49	1	2	52
32	50	1	2	53
33	52	1	2	55
34	53	1	2	56
35	55	1	2	58
36	56	1	2	59
37	57	1	2	60
38	58	1	2	61
39	59	1	2	62
40	61	1	2	64
41	62	1	2	65
42	64	1	2	67
43	65	1	2	68
44	67	1	2	70
45	68	1	2	71
46	70	1	2	73
47	71	1	2	74
48	73	1	2	76
49	74	1	2	77
50	76	1	2	79
51	77	1	2	80
52	79	1	2	82
53	81	1	2	84
54	82	1	2	85
55	84	1	2	87
56	85	1	2	88
57	87	1	2	90
58	88	1	2	91
59	89	1	2	92
60	91	1	2	94

旧

学級数	校長 教員	養護 教員	事務 職員	計
31	49	1	2	52
32	50	1	2	53
33	52	1	2	55
34	53	1	2	56
35	55	1	2	58
36	56	1	2	59
37	57	1	2	60
38	58	1	2	61
39	59	1	2	62
40	61	1	2	64
41	62	1	2	65
42	64	1	2	67
43	65	1	2	68
44	67	1	2	70
45	68	1	2	71
46	70	1	2	73
47	71	1	2	74
48	73	1	2	76
49	74	1	2	77
50	76	1	2	79
51	77	1	2	80
52	79	1	2	82
53	81	1	2	84
54	82	1	2	85
55	84	1	2	87
56	85	1	2	88
57	87	1	2	90
58	88	1	2	91
59	89	1	2	92
60	91	1	2	94

新		旧
<p style="text-align: center;">平成22年度高等学校教職員定数配分方針</p> <p>第1 「公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律」(以下「標準法」という。)等に基づく教職員の配置</p> <p>1 校長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校に各1名 <p>2 准校長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時制の課程(昼間においてのみ授業を行う課程及び閉課程を除く)及び通信制の課程に各1名 <p>3 教頭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全日制の課程、定時制の課程及び通信制の課程に各1名 ・別途、学校の実情を勘案し更に1名 <p>4 教員</p> <p>(1)別表第1を基準に配置</p> <p>(2)特色づくりの推進、学習指導の充実及び教育課題への対応のための配置</p> <ol style="list-style-type: none"> ①普通科総合選択制 ②総合学科 ③単位制 ④ガイダンス機能の充実 ⑤専門学科、通信制、普通科設置専門コース等 ⑥少人数指導 ⑦学習指導の充実 ⑧キャリア教育の充実 ⑨生徒指導・中途退学対応 ⑩日本語指導の充実 ⑪研修等定数 ⑫地域連携等の充実 ⑬修業年限弾力化 ⑭中国帰国外国人生徒選抜 ⑮自立支援推進 		<p style="text-align: center;">平成21年度高等学校教職員定数配分方針</p> <p>第1 「公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律」(以下「標準法」という。)等に基づく教職員の配置</p> <p>1 校長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校に各1名 <p>2 准校長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時制の課程(昼間においてのみ授業を行う課程及び閉課程を除く)及び通信制の課程に各1名 <p>3 教頭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全日制の課程、定時制の課程及び通信制の課程に各1名 ・別途、学校の実情を勘案し更に1名 <p>4 教員</p> <p>(1)別表第1を基準に配置</p> <p>(2)特色づくりの推進、学習指導の充実及び教育課題への対応のための配置</p> <ol style="list-style-type: none"> ①普通科総合選択制 ②総合学科 ③単位制 ④ガイダンス機能の充実 ⑤専門学科、通信制、普通科設置専門コース等 ⑥少人数指導 ⑦学習指導の充実 ⑧キャリア教育の充実 ⑨生徒指導・中途退学対応 ⑩日本語指導の充実 ⑪研修等定数 ⑫地域連携等の充実 ⑬修業年限弾力化 ⑭中国帰国外国人生徒選抜 ⑮自立支援推進

新		旧
<p>5 養護教員</p> <p>(1) 全日制の課程及び定時制の課程に各1名、通信制の課程に2名</p> <p>(2) 別途、学校の実情を勘案し更に1名</p> <p>6 実習助手</p> <p>(1) 普通科、総合学科、理数科、総合科学科、国際文化科、総合造形科を置く全日制・定時制の課程の学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、別表第2を基準とする配置を目指し、退職あと不補充により配置数を削減 <p>(2) 職業系学科（総合学科、理数科、総合科学科、国際文化科、総合造形科を除く。）を置く全日制・定時制の課程及び通信制の課程の学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級数等を勘案し、別途配置 <p>7 事務職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別表第3を基準に配置 <p>第2 学校運営上必要な職員の府単独配置</p> <p>1 校務員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、退職あと不補充により配置数を削減 <p>2 農芸員及び畜産員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業に関する学科を置く学校に、学級数及び施設等を勘案し配置 <p>第3 市立高等学校定時制の課程教職員（府費負担教職員）定数配分基準</p> <p>府立高等学校教職員定数の配分方法に準ずる。</p>		<p>5 養護教員</p> <p>(1) 全日制の課程及び定時制の課程に各1名、通信制の課程に2名</p> <p>(2) 別途、学校の実情を勘案し更に1名</p> <p>6 実習助手</p> <p>(1) 普通科、総合学科、理数科、総合科学科、国際文化科、総合造形科を置く全日制・定時制の課程の学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、別表第2を基準とする配置を目指し、退職あと不補充により配置数を削減 <p>(2) 職業系学科（総合学科、理数科、総合科学科、国際文化科、総合造形科を除く。）を置く全日制・定時制の課程及び通信制の課程の学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級数等を勘案し、別途配置 <p>7 事務職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別表第3を基準に配置 <p>第2 学校運営上必要な職員の府単独配置</p> <p>1 校務員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、退職あと不補充により配置数を削減 <p>2 農芸員及び畜産員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業に関する学科を置く学校に、学級数及び施設等を勘案し配置 <p>第3 市立高等学校定時制の課程教職員（府費負担教職員）定数配分基準</p> <p>府立高等学校教職員定数の配分方法に準ずる。</p>

新

(別表第1)

教員

・以下の表を基準に、学校の実情を勘案し配置

1 全日制の課程

学級数	基本教員数	学級数	基本教員数	学級数	基本教員数
1	5	17	37	33	63
2	7	18	38	34	64
3	8	19	40	35	66
4	10	20	42	36	67
5	13	21	44	37	69
6	15	22	46	38	70
7	17	23	48	39	72
8	19	24	49	40	73
9	21	25	51	41	75
10	23	26	52	42	76
11	25	27	54	43	78
12	27	28	55	44	79
13	29	29	57	45	81
14	31	30	58	46	82
15	33	31	60	47	84
16	35	32	61	48	85

2 定時制の課程

学級数	基本教員数	学級数	基本教員数	学級数	基本教員数
1	5	10	17	19	30
2	7	11	19	20	31
3	8	12	20	21	32
4	9	13	22	22	33
5	10	14	23	23	35
6	12	15	25	24	36
7	13	16	26	25	37
8	14	17	27	26	38
9	16	18	29	27	40

3 農業又は工業に関する学科等を置く学校に、学級数及び施設等を勘案し配置

旧

(別表第1)

教員

・以下の表を基準に、学校の実情を勘案し配置

1 全日制の課程

学級数	基本教員数	学級数	基本教員数	学級数	基本教員数
1	5	17	37	33	63
2	7	18	38	34	64
3	8	19	40	35	66
4	10	20	42	36	67
5	13	21	44	37	69
6	15	22	46	38	70
7	17	23	48	39	72
8	19	24	49	40	73
9	21	25	51	41	75
10	23	26	52	42	76
11	25	27	54	43	78
12	27	28	55	44	79
13	29	29	57	45	81
14	31	30	58	46	82
15	33	31	60	47	84
16	35	32	61	48	85

2 定時制の課程

学級数	基本教員数	学級数	基本教員数	学級数	基本教員数
1	5	10	17	19	30
2	7	11	19	20	31
3	8	12	20	21	32
4	9	13	22	22	33
5	10	14	23	23	35
6	12	15	25	24	36
7	13	16	26	25	37
8	14	17	27	26	38
9	16	18	29	27	40

3 農業又は工業に関する学科等を置く学校に、学級数及び施設等を勘案し配置

新

4 通信制の課程
別途配置

(別表第2)

実習助手

・以下の表を基準に、学校の実情を勘案し配置

1 普通科を置く全日制・定時制の課程の学校

区 分	人 数
6学級～24学級	1
25学級以上	2

2 総合学科、理数科、総合科学科、国際文化科、総合造形科を置く全日制・定時制の課程の学校

区 分	人 数
別途調整加配	1

(別表第3)

事務職員

・以下の表を基準に、学校の実情を勘案し配置

1 全日制及び多部制単位制Ⅰ・Ⅱ部の課程

区分(上記課程の計)	基 本	農業・工業調整加配
1学級～9学級	3	1
10学級～32学級	4	
33学級～41学級	5	
42学級以上	6	

2 定時制及び多部制単位制Ⅲ部の課程

区分(上記課程の計)	基 本	農業・工業調整加配
1学級～7学級	2	1
8学級～15学級	3	
16学級以上	4	

3 通信制の課程
別途配置

旧

4 通信制の課程
別途配置

(別表第2)

実習助手

・以下の表を基準に、学校の実情を勘案し配置

1 普通科を置く全日制・定時制の課程の学校

区 分	人 数
6学級～24学級	1
25学級以上	2

2 総合学科、理数科、総合科学科、国際文化科、総合造形科を置く全日制・定時制の課程の学校

区 分	人 数
別途調整加配	1

(別表第3)

事務職員

・以下の表を基準に、学校の実情を勘案し配置

1 全日制及び多部制単位制Ⅰ・Ⅱ部の課程

区分(上記課程の計)	基 本	農業・工業調整加配
1学級～9学級	3	1
10学級～32学級	4	
33学級～41学級	5	
42学級以上	6	

2 定時制及び多部制単位制Ⅲ部の課程

区分(上記課程の計)	基 本	農業・工業調整加配
1学級～7学級	2	1
8学級～15学級	3	
16学級以上	4	

3 通信制の課程
別途配置

新		旧
平成22年度特別支援学校教職員定数配分方針		平成21年度特別支援学校教職員定数配分方針
<p>第1 「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」及び「公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律」等に基づく教職員の配置</p> <p>1 校長 ・学校に各1名</p> <p>2 准校長 ・高等部を有する学校のうち、児童・生徒数及び教職員数を勘案し配置</p> <p>3 教頭 (1) 学校（<u>堺支援学校大手前分校、交野支援学校四條畷校、八尾支援学校東校、佐野支援学校砂川校及び吹田支援学校鳥飼校（以下「分校」という。）</u>を含む。）に各1名 (2) 学部数及び学級数等を勘案し更に1名</p> <p>4 教員 (1) 別表第1を基準に配置 (2) 地域支援や地域交流の充実を図るため、学校の実情を勘案し配置 (3) 障がい種別に応じた自立活動の指導や個別指導の充実を図るため、学校規模や学校の実情を勘案し配置 (4) 寄宿舎を有する学校に寄宿する児童・生徒数を勘案し配置 (5) 進路指導の充実を図るため、学校の実情を勘案し配置 (6) 生徒指導の充実を図るため、学校の実情を勘案し配置 (7) 聴覚支援学校の通級指導の充実を図るため、学校の実情を勘案し配置</p> <p>5 養護教員 (1) 学校（分校を含む。）に各1名 (2) 別途、学校の実情を勘案し更に1名</p> <p>6 寄宿舎指導員 ・寄宿舎に寄宿する児童及び生徒の数を基準に配置</p> <p>7 実習助手 (1) 学校の種別及び規模に応じて配置 (2) 高等部を置く学校にあつては、設置学科その他の実情に応じて配置</p> <p>8 事務職員 ・学級数及び施設等を勘案し配置</p>	←分校の設置に伴う 文言修正	<p>第1 「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」及び「公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律」等に基づく教職員の配置</p> <p>1 校長 ・学校に各1名</p> <p>2 准校長 ・高等部を有する学校のうち、児童・生徒数及び教職員数を勘案し配置</p> <p>3 教頭 (1) 学校（<u>分校を含む。</u>）に各1名 (2) 学部数及び学級数等を勘案し更に1名</p> <p>4 教員 (1) 別表第1を基準に配置 (2) 地域支援や地域交流の充実を図るため、学校の実情を勘案し配置 (3) 障がい種別に応じた自立活動の指導や個別指導の充実を図るため、学校規模や学校の実情を勘案し配置 (4) 寄宿舎を有する学校に寄宿する児童・生徒数を勘案し配置 (5) 進路指導の充実を図るため、学校の実情を勘案し配置 (6) 生徒指導の充実を図るため、学校の実情を勘案し配置 (7) 聴覚支援学校の通級指導の充実を図るため、学校の実情を勘案し配置</p> <p>5 養護教員 (1) 学校（分校を含む。）に各1名 (2) 別途、学校の実情を勘案し更に1名</p> <p>6 寄宿舎指導員 ・寄宿舎に寄宿する児童及び生徒の数を基準に配置</p> <p>7 実習助手 (1) 学校の種別及び規模に応じて配置 (2) 高等部を置く学校にあつては、設置学科その他の実情に応じて配置</p> <p>8 事務職員 ・学級数及び施設等を勘案し配置</p>

新		旧
<p>9 栄養教諭等（学校栄養職員・栄養教諭）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完全給食を実施する学校（分校を含む。）に各1名 ・栄養教諭については、学校における食育を推進するための体制整備の状況や府内の地域バランスを考慮して段階的に配置 <p>第2 学校運営上必要な教職員の府単独配置</p> <p>1 校務員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、退職あと不補充により配置数を削減 <p>2 通学バス担当要員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、退職あと不補充により配置数を削減 <p>3 給食調理員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、退職あと不補充により配置数を削減 <p>第3 市立特別支援学校（府費負担教職員）配分基準</p> <p>府立特別支援学校教職員定数の配分方針に準ずる。</p>		<p>9 栄養教諭等（学校栄養職員・栄養教諭）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完全給食を実施する学校（分校を含む。）に各1名 ・栄養教諭については、学校における食育を推進するための体制整備の状況や府内の地域バランスを考慮して段階的に配置 <p>第2 学校運営上必要な教職員の府単独配置</p> <p>1 校務員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、退職あと不補充により配置数を削減 <p>2 通学バス担当要員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、退職あと不補充により配置数を削減 <p>3 給食調理員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、退職あと不補充により配置数を削減 <p>第3 市立特別支援学校（府費負担教職員）配分基準</p> <p>府立特別支援学校教職員定数の配分方針に準ずる。</p>

新

(別表第1)

教員

・以下の表を基準に、学校の実情を勘案し配置

学級数	小学部	中学部	高等部	学級数	小学部	中学部	高等部
1	2	2	2	24	28	36	48
2	3	4	4	25	29	38	50
3	5	6	6	26	30	39	52
4	6	7	8	27	31	41	54
5	7	9	10	28	32	42	56
6	8	10	12	29	33	44	58
7	9	12	14	30	34	45	60
8	10	14	16	31	35	47	62
9	11	15	18	32	36	48	64
10	12	17	20	33	37	49	66
11	13	19	22	34	38	51	68
12	15	19	24	35	39	53	70
13	16	20	26	36	40	53	72
14	17	22	28	37	41	54	74
15	18	23	30	38			76
16	19	25	32	39			78
17	20	27	34	40			80
18	22	28	36	41			82
19	22	30	38	42			84
20	23	31	40	43			86
21	25	33	42	44			88
22	26	34	44	45			90
23	27	36	46				

幼稚部については小学部の欄を、専科・別科については高等部の欄を適用

旧

(別表第1)

教員

・以下の表を基準に、学校の実情を勘案し配置

学級数	小学部	中学部	高等部	学級数	小学部	中学部	高等部
1	2	2	2	24	28	36	48
2	3	4	4	25	29	38	50
3	5	6	6	26	30	39	52
4	6	7	8	27	31	41	54
5	7	9	10	28	32	42	56
6	8	10	12	29	33	44	58
7	9	12	14	30	34	45	60
8	10	14	16	31	35	47	62
9	11	15	18	32	36	48	64
10	12	17	20	33	37	49	66
11	13	19	22	34	38	51	68
12	15	19	24	35	39	53	70
13	16	20	26	36	40	53	72
14	17	22	28	37	41	54	74
15	18	23	30	38			76
16	19	25	32	39			78
17	20	27	34	40			80
18	22	28	36	41			82
19	22	30	38	42			84
20	23	31	40	43			86
21	25	33	42	44			88
22	26	34	44	45			90
23	27	36	46				

幼稚部については小学部の欄を、専科・別科については高等部の欄を適用